

出張報告書

令和4年10月21日

市議会議長 西田 武史 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 米田 貴志

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 全国都市問題会議に参加
- 2 出張先 長崎市
- 3 出張期間 令和4年10月13日～令和4年10月14日
- 4 出張者氏名 松本妙子・岩崎雅秋・桑原佳一・米田貴志・友永修
- 5 てん末報告 別添のとおり

公明党（会派）行政視察レポート

報告者 岩崎 雅秋

視察先	長崎市	テーマ	第84回全国都市問題会議
日時	令和4年10月13日（木）		
<p>参加者：米田貴志・岩崎雅秋・桑原佳一・友永修・松本妙子</p> <p>●市政の課題の解決に向けて、参考になると思われることと考察について</p> <p>全国都市問題会議 1日目</p> <p>個性を活かして「選ばれる」まちづくりのテーマのもと、①ジャパネットの高田社長からはスポーツ・地域創生事業②田上長崎市長・高尾長崎市景観専門監からはオリジナリティ溢れる100年に一度のまちづくりの報告③田中島根県立大学教授からは量より質の関係人口の報告があり、非常に興味深い話でした。</p>			

公明党（会派）行政視察レポート

報告者 松本 妙子

視察先	長崎市	テーマ	第84回全国都市問題会議
日時	令和4年10月14日（金）		
<p>参加者：米田貴志・岩崎雅秋・桑原佳一・友永修・松本妙子</p> <p>●市政の課題の解決に向けて、参考になると思われることと考察について</p> <p>全国都市問題会議2日目 パネルディスカッション</p> <p>テーマ 『個性を活かして「選ばれる」まちづくり』</p> <p>～何度も訪れたい場所になるために～</p> <p>【コーディネーター】</p> <p>東京都立大学法学部教授 大杉覚氏</p> <p>【パネリスト】</p> <p>ゆとり研究所所長 野口智子氏</p> <p>山梨大学生命環境学部教授 田中敦氏</p> <p>NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野耕市氏</p> <p>岐阜県飛騨市長 都竹淳也氏</p> <p>兵庫県伊丹市長 藤原保幸氏</p> <p>まちづくり（地域づくり）とは、それぞれの地域で醸成されてきた、根っこにある地域価値を再確認しつつ、そこを起点にして、これからの未来図（未来の地域価値を実現させた姿）を地域で思い描き、その実現を試みようとする価値実現のプロセスだと定式化して考えることができる。「選ばれる」まちづくりを考える際にも、あえてこの「根っこにある地域価値」を出発点として考えたい。では、「根っこにある地域価値」とは何か。地域の資源や宝、すなわち、「外に対して誇りに思っている古い神社や景観、昔から伝わる祭りや郷土食といったものに関心が向けられてしまう」が、そういったものの影にある、「じつはそこに暮らす</p>			

人々の日常を支え、暮らしに欠かせない大切なもの」を支える価値のことである。

このように考えると、歴史のなかで育まれた地域価値は、それを基盤に暮らしや交流を通じて地域資源に磨きをかけ、それら（の一部）が地域の誇りや宝として結晶化し具体的な姿を現してきたととらえることができる。そして、そうした誇りや宝があるからこそ地域価値を強固なものとし、シビック・プライドの醸成にもつながり、その地域での未来を見据えた新たな価値を希求する言動力や基盤となる。であるから、その地域での暮らしぶりや地域資源のあり様と相互に影響を与え合ってきた関係にあるということでもある。